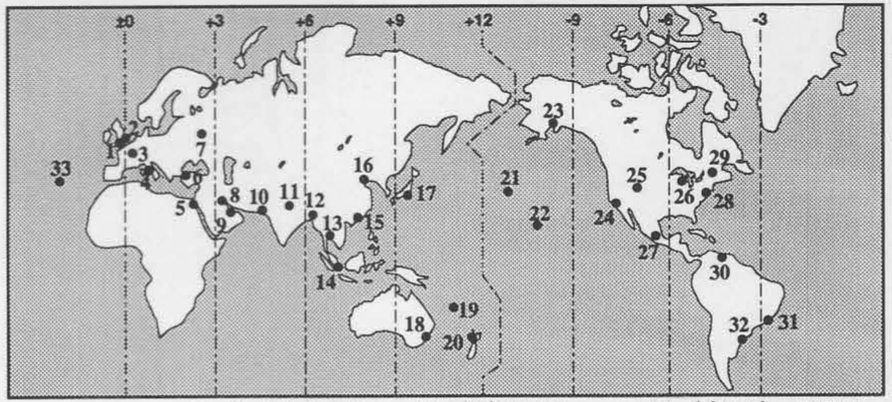
グリニッジ（ＵＴＣ）を基準とした時の時差と表示33都市（地域）

日付を１日進ませる◀―― ――▶日付を１日遅らせる



1. ｸﾞﾘﾆｯｼﾞ(UTC)
2. ﾛﾝﾄﾞﾝ(LON)
3. パリ(PAR)
4. ローマ(ROM)
5. カイロ(CAI)
6. ｲｽﾀﾝﾌﾞｰﾙ(IST)
7. ﾓｽｸﾜ(MOW)
8. クエート(KWI)
9. ドバイ(DXB)
10. カラチ(KHI)
11. ﾆｭｰﾃﾞﾘｰ(DEL)
12. ダッカ(DAC)
13. ﾊﾞﾝｺｸ(BKK)
14. ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ(SIN)
15. 香港(HKG)
16. 北京(PEK)
17. 東京(TYO)
18. ｼﾄﾞﾆｰ(SYD)
19. ヌーメア(NOU)
20. ｵｰｸﾗﾝﾄﾞ(AKL)
21. ﾐｯﾄﾞｳｪｲ(MDY)
22. ホノルル(HNL)
23. ｱﾝｶﾚｯｼﾞ(ANC)
24. ﾛｻﾝｾﾞﾙｽ(LAX)
25. デンバー(DEN)
26. シカゴ(CHI)
27. ﾒｷｼｺｼﾃｨ(MEX)
28. ﾆｭｰﾖｰｸ(NYC)
29. ﾓﾝﾄﾘｵｰﾙ(YUL)
30. カラカス(CCS)
31. ﾘｵﾃﾞｼﾞｬﾈｲﾛ(RIO)
32. ﾌﾞｴﾉｽｱｲﾚｽ(BUE)
33. アゾレス諸島

この度は、シチズンウオッチをお買い上げいただき厚くお礼申し上げます。この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。

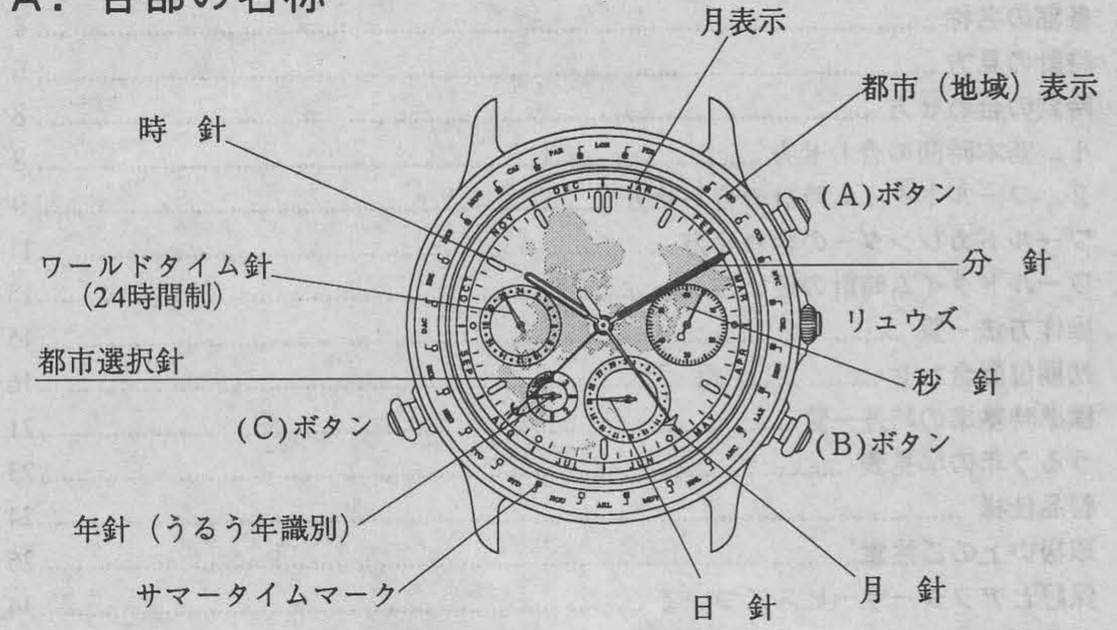
ご使用に当たって

・通常のご使用では、常にリュウズをきちんと押し込んだ状態（通常位置）にしてご使用ください。リュウズを引いた状態では、通常位置よりも電池寿命が短くなります。また、ご使用にならない時もリュウズを通常位置にしておいてください。
・この時計のワールドカレンダーは、月末無修正、およびうるう年無修正ですので、通常のご使用では完全なカレンダー無修正でご使用になれます。
・この時計は世界23都市（地域）の時刻、カレンダーを知ることができます。又、知りたい都市がサマータイムになっている場合は、ボタン操作一つで簡単にサマータイム表示に切替える事ができます。

目　次

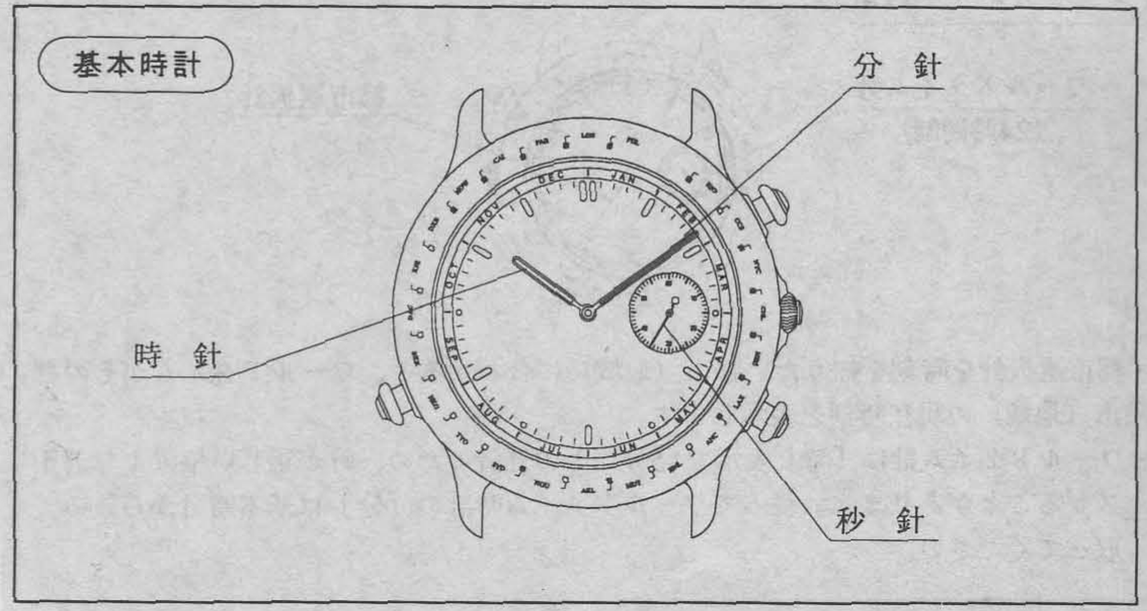
A．各部の名称 4
B．時計の見方 5
C．時刻の合わせ方 8
　1．基本時間の合わせ方 8
　2．ワールドタイム時計の合わせ方 9
D．ワールドカレンダーの合わせ方 11
E．ワールドタイム時計の使い方 13
F．操作方法一覧 15
G．初期位置合わせ 16
H．標準時基準の時差一覧 21
I．うるう年の早見表 23
J．製品仕様 24
K．取扱い上のご注意 26
L．保証とアフターサービスについて 34
M．シチズンサービスセンター所在地 37

A．各部の名称

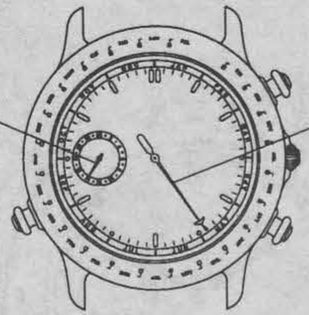


B．時計の見方

基本時計



ワールドタイム時計

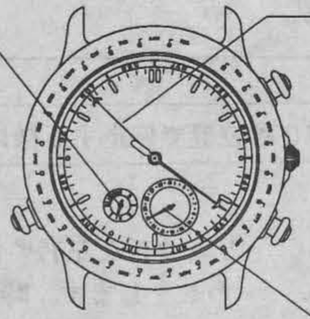


・都市選択針を時刻を知りたい都市（地域）に合わせると、ワールドタイムがその都市（地域）の現在時刻を表示します。
・ワールドタイム針は「時」表示で15分ごとの運針のため、針が正しい位置より若干ズレることがあります。従ってワールドタイム時計の「分」は基本時計から読み取ってください。

うるう年識別

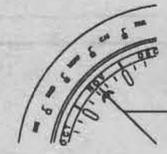
Leap·Year：うるう年
うるう年およびその経過年数を表示し、４年で一周します。
＜例＞
図の様に年針が・1・の間にある時は、うるう年から１年目にあることを指しています。

カレンダー

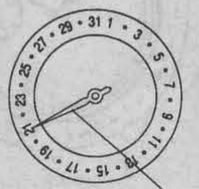


・都市選択針が示す都市（地域）のカレンダーを表示します。
・サマータイムにも連動します

月



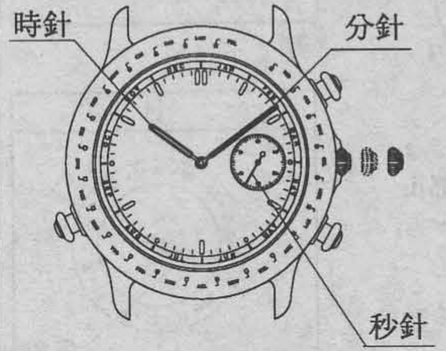
日



C．時刻の合わせ方

1．基本時間の合わせ方

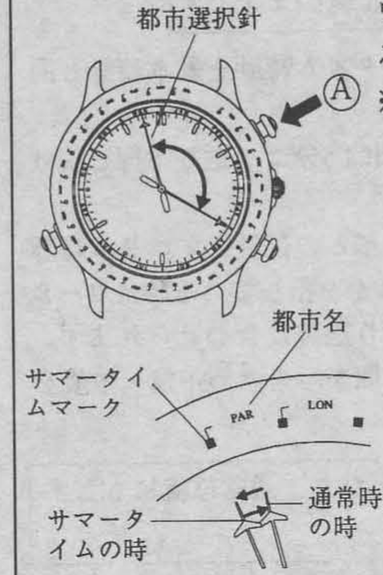
秒針が０秒位置で停止する様にリュウズを２段引きします。



・リュウズを左右いずれかに回転させて時刻合わせをします。時刻合わせが終ったら、時報に合わせてリュウズをきちんと通常位置へ押し込んでください。

※基本時計の時刻合わせによるカレンダーの切り替えはできません。

2．ワールドタイム時計の合わせ方



ワールドタイム時計を基本時計と同一時刻に一度セットするのが、ワールドタイム時計の最も簡単な合わせ方です。

※基本時計が日本（東京）の現在時刻であれば、ワールドタイム時計も日本の現在時刻に合わせます。

(1)都市選択針を合わせます

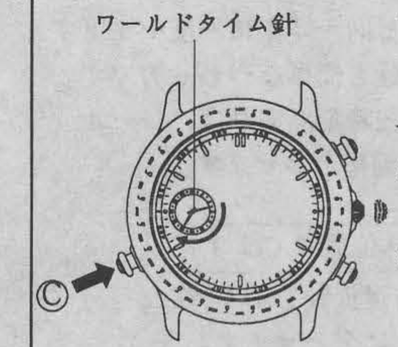
リュウズを１段引き位置にします

（A）ボタンを押して、都市選択針を基本時計が表している現在時刻の都市（地域）に合わせます。

※基本時計が通常時刻の時は、都市名に合わせます。その都市がサマータイムの時は、都市の左側にあるサマータイムマーク（▗）に都市選択針を合わせます。

※（A）ボタンを１回押すごとに１／２都市づつ送り、押し続けると早送りします

(2)ワールドタイム時計を合わせます



リュウズは１段引き位置のままです

（C）ボタンを押してワールドタイム時計を基本時計と同一時刻に合わせます。

※（C）ボタンを１回押すごとに15分づつ送り、押し続けると早送りします。

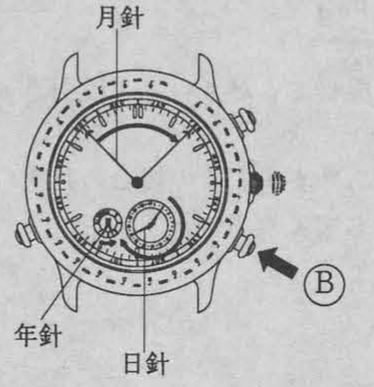
※ワールドタイム時計は、15分ごとの運針です。基本時計が00、15、30、45分のいずれかを指している時にワールドタイム時計を合わせればより正確に合わせられます。

※ワールドタイム時計は、24時間表示のため午前・午後を確認して合わせてください。

ワールドタイム時計はリュウズ１、２段引きで停止状態となり、通常位置にもどすとスタートします

D．ワールドカレンダーの合わせ方

ワールドカレンダーはワールドタイム時計と連動していて、基本時計とは連動していません。ワールドタイム時計が午前０時になった時にカレンダーが切り替わります。又、都市選択針がＭＤＹ（ミッドウェイ）とＡＫＬ（オークランド）の間を移動するとき、日付変更線を越えるためカレンダーが切り替わります。



リュウズは１段引き位置です

（B）ボタンを押して都市選択針が示す都市（地域）のカレンダーにセットします。カレンダー各針は日針→月針→年針と連動しています。予め、今年がうるう年から何年目に当たるか確認します。（後表のうるう年早見表を参照してください）

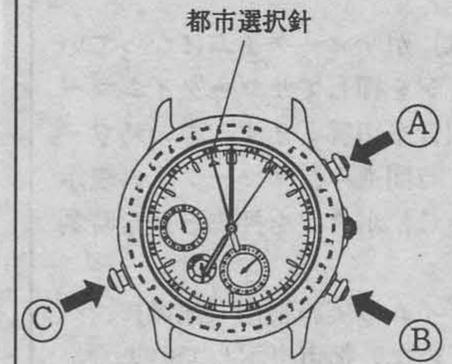
年針→月針→日針の順にカレンダーをセットします

※（B）ボタンを１回押すごとに１日づつ送り、押し続けると早送りします。
カレンダーは月末無修正／うるう年無修正のカレンダー無修正です。

（例）・**月末無修正**　11月30日→12月１日へ自動修正
・**うるう年無修正**　２月29日↘
平年　２月28日→３月１日へ自動修正

※カレンダーを修正した後は必らずリュウズを通常位置に戻してください。１段引きのまま放置しておくとカレンダーは切り替わりません。
※月針は月末と翌月のはじめの境で針位置がズレることがあります。この場合の月末と翌月のはじめは、日針の位置で当月か翌月かの判断をしてください。

E．ワールドタイム時計の使い方（世界各地の現在時刻が知りたい時）



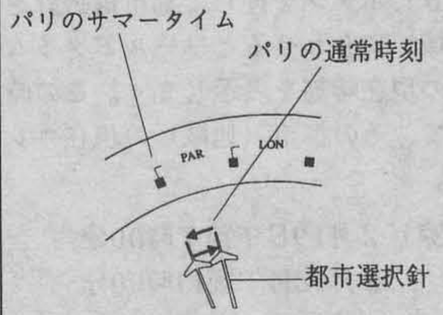
リュウズは通常位置です。

（A）ボタン又は（B）ボタンを押して都市選択針を合わせたい都市（地域）に合わせるとワールドタイムがその都市（地域）の現在時刻を表示します。この時カレンダーも連動して、その都市（地域）の現在カレンダーを表示します。

（例）現在時刻（東京）２月19日午前７時00分
パリ時刻　２月18日午後11時00分

都市選択針は（A）ボタンを押すと逆回転、（B）ボタンを押すと正回転します。
※（A）又は（B）ボタンを１回押すごとに１都市（地域）づつ送り、押し続けると早送りします。

＜サマータイムの合わせ方＞



知りたい都市（地域）がサマータイムになっている場合は（C）ボタンを押してサマータイムマーク（■）に都市選択針を切替えます。この時ワールドタイム時計も1時間進み、サマータイム表示となります。再び（C）ボタンを押すと通常時刻へもどります。

※ ■ 印はサマータイムの実施都市（地域）、
凸 印は実施していない都市を示しています。
（1989年調査）

F．操作方法一覧

ボタン / リュウズ	(A)ボタン	(B)ボタン	(C)ボタン	リュウズ回転
通常位置	都市選択 （都市選択針逆回転）	都市選択 （都市選択針正回転）	サマータイム切替え （注－1）	
1段引き	都市（地域セット） （都市選択針）	ワールドカレンダー合わせ	ワールドタイム時計 時刻合わせ （ワールドタイム針）	
2段引き				基本時計 時刻合わせ

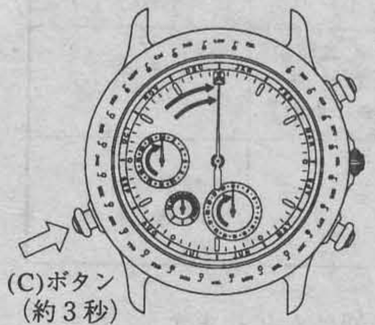
（注1）・サマータイム表示から(C)ボタンを押すと通常時刻にもどります
・リュウズ通常位置で(C)ボタンを約3秒以上押すとイニシャル・モニターができます。

G．初期位置合わせ

この時計をご使用になる前に、必ずワールドタイム／ワールドカレンダーの各針が正しい位置で作動する状態（初期位置）にあるかどうか次の方法で確認して下さい。

★イニシャル・モニター（初期位置確認）

正しい針位置



リュウズ通常位置で(C)ボタンを３秒程押し続けるとワールドタイム及びワールドカレンダーの各針が早送りされ停止します（停止は約20秒間）。この時、針の位置が次の位置にあれば正しく初期位置合わせが出来ている事になります。

・ワールドタイム関連針…都市選択針が12時位置(真上)
ワールドタイム針が24時位置(真上)

・ワールドカレンダー関連針…日・月針が12月31日
年針が12時（真上）

イニシャル・モニターをして万一、上記の様に各針が示さない場合は、18ページ以降の①②③の手順で正しいセットをしてください。

初期位置合わせが出来ている場合

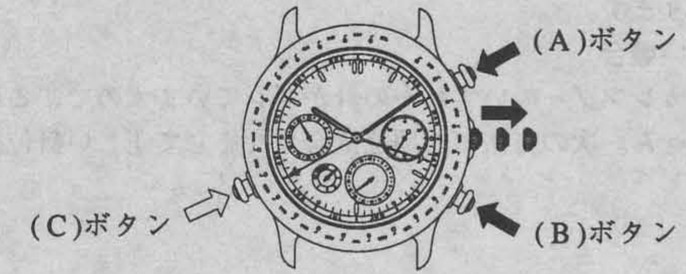
ワールドタイムとワールドカレンダーの各針は、正しい位置で作動する状態にあります。(A)～(C)いずれかのボタンを押すことによりモニター前のワールドタイム／ワールドカレンダーに戻せます。又、約20秒経過すると自動的にモニター前のワールドタイム／ワールドカレンダーに戻ります。

初期位置合わせが出来ていない場合

ワールドタイム又はワールドカレンダーのいずれかの針がズレていますので、このままでは正しい針位置を示しません。次の方法で初期位置合わせをして正しい針位置を示すようにして下さい。

①(A)～(C)いずれかのボタンを押してモニター前のワールドタイム／ワールドカレンダーに戻します。又、約20秒経過すると自動的にモニター前のワールドタイム／ワールドカレンダーに戻ります。

②オールリセットします。



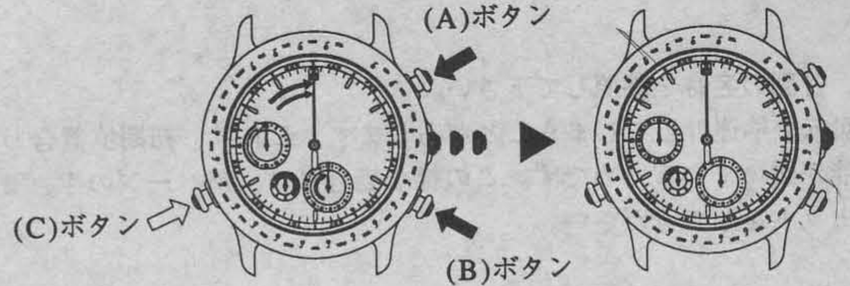
リュウズを２段引き位置にします

1）(A)、(B)、(C)の３つを同時に押します。

2）(A)、(B)、(C)の３つを離して約２秒後にワールドタイム針→都市選択針→日針（月針年針）の順に回転すればオールリセットされたことになります。

③初期位置合わせをします。

リュウズは２段引き位置のままです。



※(A)、(B)、(C)いづれのボタンも押し続ければ早送りします。

1）(A)ボタンを押して都市選択針を12時位置（真上）に合わせます。

2）(B)ボタンを押して年針を12時位置（真上）に、月・日針を12月31日（真上）に合わせます。年・月針は、日針に連動しています。

3）(C)ボタンを押してワールドタイム針を24時位置（真上）に合わせます。

4）そして、リュウズをきちんと通常位置に押し込むと初期位置合わせは完了です。

以上の初期位置合わせが出来ましたら、C．時刻の合わせ方、D．カレンダーの合わせ方を参照して現在の時刻／カレンダー合わせをしてください。

※各針の名称はA．各部の名称を参照して下さい。
都市選択針が逆回転で早運針してしまうことがあります。これは、初期位置合わせ未完了警告表示機能が働いているためです。この様な場合には、前ページの１、２、３の手順で正しいセットをしてください。

電池交換を行なったら、前ページの手順で正しいセットが必要です。これを行ないませんとワールドタイム時計（都市選択針／ワールドタイム時計）、ワールドカレンダー各針が正しく作動しませんのでご注意ください。

H．標準時基準の時差一覧

UTC(Universal Time Coordinated)：協定世界時＝グリニッジ標準時

時計上の都市名			サマータイム実施	その他の都市	UTCとの時差
LON	LONDON	ロンドン	○	ｶｻﾌﾞﾗﾝｶ，ﾀﾞｶｰﾙ	0
PAR	PARIS	パリ	○	ローマ	＋1
CAI	CAIRO	カイロ	○	ｱﾃﾈ･ｲｽﾀﾝﾌﾞｰﾙ	＋2
MOW	MOSCOW	モスクワ	○	メッカ・ナイロビ	＋3
DXB	DUBAI	ドバイ	×		＋4
KHI	KARACHI	カラチ	×		＋5
DAC	DHAKA	ダッカ	×	タシケント	＋6
BKK	BANGKOK	バンコック	×	ジャカルタ	＋7
HKG	HONG KONG	ホンコン	×	ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ・北京	＋8
TYO	TOKYO	東京	×	ソウル	＋9
SYD	SYDNEY	シドニー	○	グアム島	＋10
NOU	NOUMEA	ﾇｰﾒｱ(ﾆｭｰｶﾚﾄﾞﾆｱ島)	×	ソロモン諸島	＋11
AKL	AUCKLAND	オークランド	○	フィージー諸島	＋12
MDY	MIDWAY	ミッドウェイ	×		-11
HNL	HONOLULU	ホノルル	×		-10

時計上の都市名			サマータイム実施	その他の都市	UTCとの時差
ANC	ANCHORAGE	アンカレッジ	○	ドーソン（カナダ）	-9
LAX	LOS ANGELES	ロサンゼルス	○	サンフランシスコ	-8
DEN	DENVER	デンバー	○	エドモントン(ｶﾅﾀﾞ)	-7
CHI	CHICAGO	シカゴ	○	メキシコシティー	-6
NYC	NEWYORK	ニューヨーク	○	ﾜｼﾝﾄﾝ，ﾓﾝﾄﾘｵｰﾙ	-5
CCS	CARACAS	カラカス	×	サンチャゴ（チリ）	-4
RIO	RIO DE JANEIRO	リオデジャネイロ	○	ブエノスアイレス	-3
				ベルデ岬諸島	-2
PDL	PONTA DELGADA AZORES.IS	ポンタデルガタ アゾレス諸島	○		-1

※サマータイムの実施都市（地域）を○印、実施していない都市（地域）を×印で表わしています。（1989年調査）

※各国の時差及びサマータイムは国の都合により変更となる場合があります。

1．うるう年の早見表

		LY	1992	LY	1996	LY	2000	LY	2004	LY	2008
		1	1993	1	1997	1	2001	1	2005	1	2009
		2	1994	2	1998	2	2002	2	2006	2	2010
3	1991	3	1995	3	1999	3	2003	3	2007	3	2011

＜表の見方＞

ＬＹを示す年がうるう年で、１．２．３．はうるう年から経過年数を示します。

（例）1992年はうるう年、1993年はうるう年から１年目になります。

J．製品仕様　CAL6720・6721

1．型式：アナログクォーツウオッチ（多針）
2．水晶振動数：32，768Hz
3．時間精度：平均月差±20秒以内（常温5℃～35℃において）
4．変換機：2極ステップモーター　4個
5．付加機能：指針表示式カレンダー
　　日・月・うるう年識別
　　指針表示式ワールドタイム時計
　　・都市選択〔23都市（地域）／24ゾーン表示〕
　　・ワールドタイム（24時間制表示）
　　サマータイム切替え
　　初期位置合わせ未完了警告表示
　　秒針任意停止装置
6．作動温度範囲：－10℃～＋60℃（14°F～140°F）

7．使用電池：小型銀電池1個
　　電池番号　280－74（SR936W）
　　電池寿命　時計に組込後約3年
8．使用IC：C－MOS－LSI　2個
　　（CPU・IC　1個、モーター駆動用IC　1個）

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

K．取扱い上のご注意

1．防水性について（お確かめください）

	裏ぶた	文字板
非防水	———	———
日常生活用防水	この文字が表示されています。	———
日常生活用強化防水（5気圧防水 10気圧防水）		WATER RESIST ※※※

＊日常生活用強化防水（5気圧防水、10気圧防水）の場合、文字板にWATER RESIST ※※※と表示してあります。(一部デザイン上の都合で文字板上に表示のないものもあります)

＊5気圧防水——5bar

＊10気圧防水——10bar

と表示されています。

※リュウズは常に押し込んでご使用ください。

	洗顔や雨などにより一時的にかかる水滴。	水仕事・水泳・洗車・ヨット・水上スキーなど。	スキンダイビング（素もぐりなどの潜水）	スキューバダイビング（ボンベを用いる潜水）	水滴がついた状態でのボタンの操作。
非　防　水	×	×	×	×	×
日常生活用防水	○	×	×	×	×
日常生活用強化防水（５気圧）	○	○	×	×	×
日常生活用強化防水（10気圧）	○	○	○	×	×

海で泳いだ後には

・時計は真水でよく洗い、海水などによるサビがでないようにしてください。
・洗ったあとはよく拭いてください。

時計の内部にも多少の湿気が有りますので、外気が時計内部の温度よりも低い時にはガラス面が曇る場合があります。曇りが一時的な場合には内部に支障はありませんが、長時間消えない場合はお買い上げ店、又はシチズン取扱い店にご相談ください。

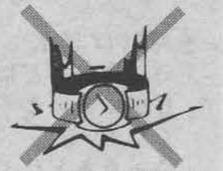
2. 温度について

直射日光にさらしたり、高温になる所に長い間置かないでください。
＊故障の原因になったり電池寿命が短くなります。

寒い所に長く置かないでください。
＊多少遅れが生ずることがありますが腕につければもとの精度にもどります。

3. ショックについて

ゴルフやキャッチボール程度のショックでは影響を受けません。



床面へ落とすなどの激しいショックはあたえないでください。

4. 磁気について

テレビ・ステレオなど家庭用電気製品による影響はありません。

磁石には近づけないでください。
磁気健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア・電動マージャン台等、磁気に近づけますと一時的に進み遅れがあります。この場合は時刻修正をしてください。

5. 化学薬品・ガス・水銀について

化学薬品・ガスの中でのご使用はおさけください。
シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・トイレ用洗剤・接着剤等）が時計に付着しますと変色、溶解、ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には充分注意してください。また体温計等に使用されている水銀に触れたりしますとケース・文字板・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

6．皮バンドについて

防水機能を有した時計で皮バンド付きの時計は、取扱いにご注意下さい。水の中で使う事が多い場合は、脱色、接着はがれなどの不具合を起こす場合がありますので、あらかじめ他の材質のバンド（金属製又はゴム製）にお取り替えの上、ご使用下さい。

7. 時計は清潔に

●ケース・ガラスについた汚れや水分は柔らかい布で拭きとってください。

●バンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れをそのままにしておきますと体質上皮膚の弱い方はかぶれる場合もあります。その状態での使用はすぐに中止してください。

●又、ワイシャツなどの衣類の袖口を鉄サビによるシミで汚すことがありますので、サビの原因になる汗や埃などの気づかぬ汚れに対してもご注意の上常に清潔にしてご使用ください。

●バンドは多少余裕をもたせ通気性を良くしてご使用ください。
(指一本入る位が適当です。)

● 時々汚れを取りご使用ください。
ご使用の間には、ケースとリュウズの間にゴミや汚れが付着して、リュウズが引き出しにくくなることがあります。リュウズが押し込まれた状態で時々リュウズを空回りさせてください。

〔金属バンド〕
石けん水等をつけた歯ブラシで部分洗いしてください。

〔皮バンド〕
表側は柔かい乾いた布で軽く拭き取り裏側はアルコールでしめした布で汚れを取ってください。

〔プラスチックバンド／ゴムバンド〕
水で汚れを洗い落としてください。
(溶剤類の使用は、変質の恐れがありますので避けてください。)

L．保証とアフターサービスについて

1．保証について

正常なご使用状態で、保証期間中に万一故障が生じた場合には、別紙の保証書に従い、無料修理致します。

2．修理用部品の保有期間について

当社は時計の機能を維持するための修理用部品を通常７年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・リュウズ等の外装部分におきましては、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

3．修理可能期間について

通常のご使用であれば、保証期間を過ぎても、当社の修理用部品の保有期間中は有料修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なりますので、修理の可否については現品ご持参のうえ販売店でよくご相談ください。尚、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

4．ご転居、ご贈答品の場合

保証期間中にご転居、又はご贈答品のためにお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、お近くの当社サービスセンターにご相談ください。

5.長くご愛用いただくために定期的な診断と部品の交換を行なってください。

●部品交換は、お買い上げ店、又はシチズンクオーツ取扱い店にお申し出ください。

●部品交換の際は、交換だけでなく他の部品の点検、又は修理を行う必要がある場合もありますので、交換修理料金等、詳しくはお買い上げ店、又はシチズンクオーツ取扱い店にご相談ください。

●部品交換をされる場合は、「シチズンの純正部品を使用」とご指定ください。

＜防水時計専用部品の交換について＞

防水時計の場合、防水性を保つために１～２年毎にお買い上げ店、又はシチズンクオーツ取扱い店で診断していただき、パッキン・ガラス・リュウズなどの交換を行なってください。

＜電池交換について＞

●この時計は新しい電池を組み込み後、約２年間安定した精度を維持します。

●お買い上げの時計にあらかじめ組み込まれている電池は機能・性能を確認するためのモニター用電池です。お買い上げ後２年に満たないうちに寿命が切れることがありますのでご了承ください。